

# 暖 暖 松 山

だんだんまつやま

あまく、くつろぐ 冬の旅



# 身も心も、満たされる

甘味が大好きなまちの、  
おはぎやお団子、おまんじゅう。  
なつかしい味から、  
あたらしい味までをめぐります。  
人の手と思いがつむぐ  
一瞬のしあわせに、出会う旅。  
暖をとりながら、  
店主の人柄や思いが伝わる  
お店の本棚から  
選んだ一冊とともにのんびり過ごす、  
ささやかな旅の思い出も添えて。  
冬の松山ならではの、  
甘く、温かく、まったりした時間を  
過ごしてみませんか。



- 02 あんこに、ときめいて。
- 08 松山で見つけたおみやげ  
カラフルあんこのおみやげ / 個性あふれるおみやげ
- 10 本と過ごす、道後のお宿
- 12 読んでくつろぐCafe Time
- 14 あまくて かわいい和
- 15 松山に移り住んで④  
大本直樹さん
- 16 INFORMATION 松山市からのお知らせ
- 17 松山MAP・ACCESS



田舎のおだやかさもあれば都会の便利さもある。文化や歴史の楽しみもあれば、海や島の楽しみもある。あたたかい温泉もあれば、あたたかい人間味もある。松山は、何かひとつだけがゴイのではなく、いろんなよさが絶妙に程よく混ざり合うまちです。気の向くままにいる楽しみ、味わい、暮らせるまちです。そういう松山らしい、ちょうどいい豊かさ。このまちに住む人、訪れる人にもっともっと。※本誌に掲載している情報は、「暖暖松山」編集部が独自に選定しています。※2022年10月現在の情報です。※料金は税込で表示しています。※新型コロナウイルスなどの影響により情報の内容は変更される場合があります。

※国や都道府県からの要請などを確認し、新型コロナウイルスの感染防止にご協力をお願いします。



地元の思いで  
建物のいのちをつなぐ、  
元産院。

旧濱田医院

大正時代に建てられた「旧濱田医院」。往年の存在感を思わせる木造建築は空き家の時を経て、地元の有志がリフォーム。現在はテナントなどが入り、三津浜の新名所になっている。

◎松山市住吉2-2-20  
店舗詳細は、下記webサイト参照  
<https://mitsu-hamada.com/>



本好き3人で営む週末、5畳の本屋。

さんぽどう  
三帆堂

本業を持ちながら、それぞれの屋号で本に関する企画やイベント出店をしていた3人が2022年春、旧濱田医院で始めた週末オープンの本屋。「港町の“本と人が集う停泊所”になりますように」と店主。

◎松山市住吉2-2-20 旧濱田医院104号室  
◎11:30~17:00/月~金曜定休  
<https://www.instagram.com/sanpo.dou/>



古本を中心に、新刊も扱う。買い取りも行っている



旧鈴木家住宅で営む「旧鈴木邸CHAYA」の中庭。旧鈴木家住宅は2021年、国の登録有形文化財に指定

古民家に暮らすための商い。  
“浜の母ちゃん”直伝、口福おはぎ。

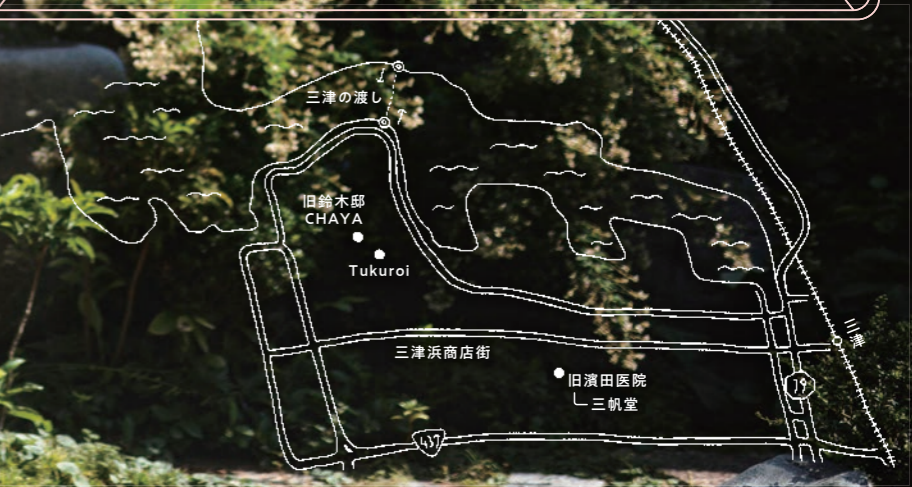
旧鈴木邸CHAYA

取り壊しの危機にあった元米穀問屋に惹かれ、10年前に買い取った店主が2022年春、オープン。地元女性を作るおはぎのおいしさに驚き、作り方を学んだ店主。建物を守るためのなりわいとして、おはぎが主役のカフェを始めた。

◎松山市三津1-3-13 ☎070-5510-3145  
◎12:00~17:00/月・木・金曜定休



あんこが食べたい。それは、旅のはじまり。  
甘味に、甘味のあるところに、ときめく、冬の松山旅。



古い建物を直し、継ぐまちの、  
古い家具を直し、継ぐ人。

つくろい  
Tukuroi

家具のリペア職人に魅せられたオーナーが職業訓練校や木工所、家具の修理の仕事を経て、2019年、三津浜の元製菓工場だった倉庫を改装し、家具の修理と北欧家具を販売するお店を始めた。

◎松山市三津1-2-8 ◎11:00~17:00/  
月~金曜、日曜(隔週)定休  
<https://tukuroi.info/>

北欧のヴィンテージ家具などを扱う。Yチェア(写真右)で有名なカール・ハンセン&サンズ正規取扱店でもある



おはぎ(1個150円)とほうじ茶「やまちゃ」(500円)。「甘いものが苦手」という店主の舌をうならせたおはぎのあんこには、地元の醤油が練り込まれている



三津浜エリア

松山市中心地から車や電車で20分ほどにある三津浜。戦禍をまぬがれた、港町の繁栄の名残を、町屋や民家などの歴史的な建物が今に伝える。近年、移住者が増えている。

港町の、懐かしい風情と建物。  
三津浜に惹かれた人たちが、  
それぞれに惹かれたものが、  
地元の味、ヴィンテージ家具、古書。  
レトロは味、そして粋。

港町レトロも味わう、  
三津浜めぐり。





個人から寄贈された2000冊の本が並ぶ部屋もある。演劇関連の本も豊富



# 松山の名店に出会う、お城下めぐり。

中心地から少し離れたエリア。わかりにくい場所こそ名店の証。ドキドキ、地元民にまぎれ込んで松山のとっておき、いただきます。



**お城下エリア**  
松山城の北側に位置する一帯は、かつて寺町と呼ばれ、多くの文人が訪れた。史跡や句碑が多く点在し、現在は愛媛大学、松山大学と2つのキャンパスが近くにあり、学生街の一面を持つ。



もち粉と寒天を合わせた皮はもちもちの食感。生クリームを加えた粒あんとの相性抜群な「もちもち生どら焼き」(200円)



職人魂と冒険心が作る、もちもちの生どら焼き。



**林仙堂**  
郷土菓子から、和洋の創作菓子まで幅広く作る1960年創業の老舗。人気商品の一つが「もちもち生どら焼き」。20年のロングセラーは洋菓子と和菓子を作る林仙堂だからこそ生まれた逸品。  
◎松山市木屋町3-10-12 ☎ 089-925-5655  
◎ 9:00~20:00 / 日曜定休



手作りし居心地、極上の“おうち”。食後のおはぎが、極めつけ。

**物語カフェ かまどねこ**  
2018年オープンのカフェは、家庭菜園などでとれた新鮮な野菜を使って丁寧にこしらえた“ぜいたくおうちごはん”が評判。昨年、自家製おはぎがメニューに登場。  
◎松山市平和通1-1-2 ☎ 080-3922-3405  
◎ 11:00~15:00 / 土・日曜・祝日定休



(上)たっぷりの野菜と手間をかけた「日替わり定食」(850円)、(下)小豆の味が生きた自家製の「ひとくちおはぎ」(1個100円。粒あん、抹茶、きな粉、青のり、黒ゴマの5種からセレクト)



自宅のようにくつろげる「物語カフェ かまどねこ」。緑側の席からは、庭で過ごす「地域猫」(地域で育てる猫)の姿も



パンの数だけのおいしさ発見。人気定番「あんバター」。

**オウボンパン ディイワモト**  
2013年にオープンした、ハード系からソフト系まで好みのパンに必ず出会える人気のパン屋。店名に付けた「おいしいパン」の名の通り、店主が「おいしい」と思うパンを追求。  
◎松山市西一万6-2 ☎ 089-948-9841  
◎ 7:30~18:30 / 月・日曜定休



クルミ入りのハードパンに、たっぷりのあんこをサンドした「あんバター」(250円)



看板菓子の真っ白な「つるこ」(200円)、季節によって変わる生菓子(240円〜)。生菓子の肝、こしあんは、炊く前にあずきの皮を取るというこだわり  
**和菓子の本物の美しさ、おいしさを知る。**  
**西岡菓子舗**

道後で半世紀以上、のれんを守る和菓子の老舗。茶道を極めた人も認めるほど、素材と技にすぐれた名店。上品な味と美しい和菓子は県内外にファンをもつ。  
◎松山市道後一万9-56 ☎ 089-925-5642  
◎ 9:30~16:00 / 日曜・第4月曜定休





全部で14種類。(写真上)しろあん(150円)

このまちの食卓と風景に  
欠かせない、蒸しパン屋。

労研饅頭たけうち 大街道支店

松山のメインストリート「大街道」の一角に、レトロな構えで営む。創業時から受け継ぐ酵母菌を使った蒸しパン「労研饅頭」は、90年以上経ったいまも松山の定番おやつ、人気の手土産。

◎松山市大街道2丁目3-15  
☎089-921-6997  
◎9:30~19:00(売り切れまで) / 水曜定休



ひなのやのロゴを形にした皮に、甘さも口当たりもよい塩梅のあんをはさんだキュートな最中。2つで600円(ほうじ茶付き)



松山 労研饅頭

松山 労研饅頭



甘味、しつらえ、接客。  
“引き算の美”が心地いい

Café ひなのや

昔懐かしの“ボン菓子”を作る愛媛・西条の「ひなのや」が2021年、カフェ空間にリニューアル。洗練された甘いもの、飲みもの、そして空間。そこに心ほどくエッセンスが加わる、ひなのやの妙。

◎松山市三番町3-5-10 1F ☎089-993-7115 ◎カフェ11:00~17:00(L.O.16:30)、ショップ10:00~18:00 / 日曜・祝日定休



スタイリッシュな空間で営む「Café ひなのや」。提供するの、体と心がなごむスイーツやドリンク



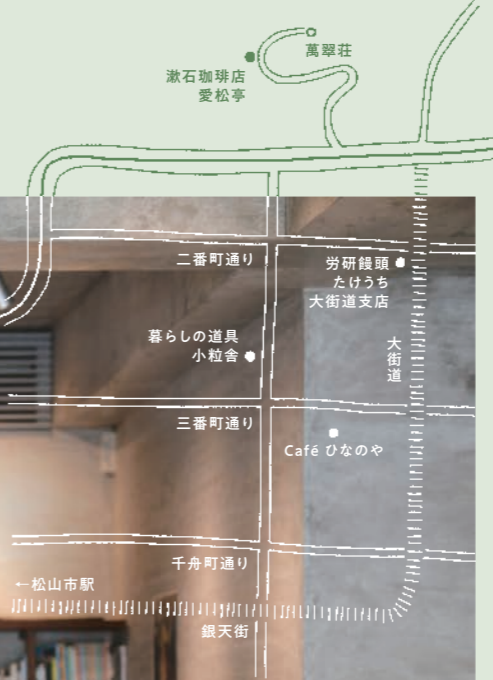
(左)松山のあんこ菓子といえばこれ!銘菓「坊っちゃん団子」と抹茶のセット(650円)、(下)愛松亭では2匹の保護猫を飼っている

文学のまちのシンボルのような静かなカフェ。

漱石珈琲店 愛松亭

松山城のふもと、国の重要文化財「萬翠荘(ばんすいそう)」のそばに、夏目漱石ゆかりの場所で営むカフェがある。樹々に囲まれ、街中の喧騒から離れた空間と接客が心地いい。

◎松山市一番町3-3-7 ☎089-993-7500  
◎10:00~17:30(L.O.17:00) / 月・木曜定休(祝日の場合は営業)



街中エリア

松山城の南側に位置する松山市の繁華街は、かつて武家屋敷だった。現在は、商業エリアと行政や金融機関などまちの主要な機能が集中。今回めぐった中の一つ「愛松亭」は旧藩主の別邸の敷地にある。



あんこの和菓子にも合いそう♪

2

1

3

喧騒の異空間に浸る、  
街中めぐり。

まちの中心地にある、雰囲気と空気感がちがう場所。一人の時間もゆたかになる、街中の、特別な場所。



店主の“好きなもの”と感性が溶けあった、古ビルのワンルーム。

暮らしの道具 小粒舎

街中の一角にある古ビルの3階、古着のイメージを覆すヨーロッパ古着、国籍や年代不明の実用品などを扱う。「日本製でも、ヨーロッパに憧れて作られたものに惹かれます」と店主。

◎松山市二番町4-2-1 二番町ビル303  
◎13:00~夕暮れどき / 月・火・日曜定休  
[https://www.instagram.com/kotsubu\\_sha/](https://www.instagram.com/kotsubu_sha/)



1\_ 印刷皿(500円)、2\_ 素焼き皿(500円)、3\_ 漆器(600円)。店内には小さな“私設図書館”も

# 木公山で 見つけた おみやげ

Souvenirs found in Matsuyama



地元で愛されてきた味や  
新感覚の味が自慢のあんこ。  
ちょっと気のきいた  
かわいい雑貨。  
もらってうれしいおみやげを  
紹介します。



何色の  
バラが  
好き?



## カラフルあんこの おみやげ

時代を超えて愛されるあんこ、  
「ラブあんこ」がいっぱい。



風味の良い銘菓



手作りの3色団子



こんなタルトがほしかった

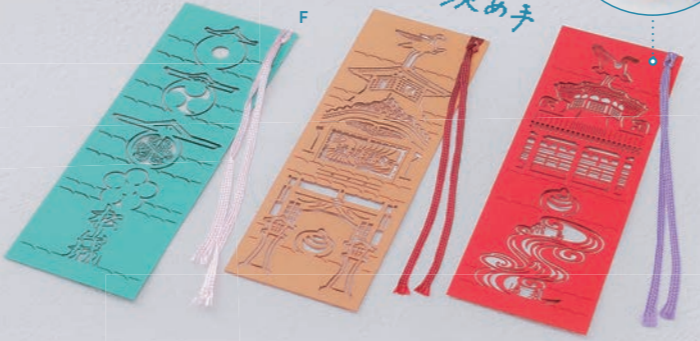


しっしーは 正岡子規



折り曲げたらオブジェにもなるよ

シッポが決め手



使い勝手の良さが光る



## 個性あふれる おみやげ

地元発のちょっと気になる  
おみやげ集まれ!



世界で1つだけ



### H 木の温もりが感じられる

森のブックカバー [木生活]

愛媛県のブランド材「媛ひのき」「媛すぎ」を使ったオリジナルのブックカバー。何度折り曲げてもしなわれない丈夫な作りで、やさしい手触りに癒される。各3300円

問合せ/◎松山市住吉1-5-15  
☎089-950-4799 ◎10:00~17:00/  
火~木曜定休 購入は同店で

### G シンプルでかわいい

手拭い [伊丹十三記念館]

多彩な才能で知られる伊丹十三が描いた「カチンコ」のイラストがいっぱい。宮本信子館長プロデュースの商品。おしゃれな手拭いでアレンジを楽しんでみて。各990円

問合せ/◎松山市東石井1-6-10  
☎089-969-1313 ◎10:00~18:00/  
火曜定休(祝日の場合は翌日) 購入は同館で

### F 3つの楽しみ方を体験

ブックマーク [GIFthearts]

「松山城」「道後温泉」「飛鳥乃湯泉」がしおりになって登場(各5色)。折り線で折り曲げるとオブジェやインデックスとしても使える新しい形のしおり。1枚600円

問合せ/ info@gifthearts.jp  
購入は松山城ロープウェイ東雲口駅舎内、  
道後温泉観光会館などで

### E 子規博の人気者を発見

しっしー俳句手帳&マスキングテープ  
[松山市立子規記念博物館]

子規をイメージして生まれた、マスコットキャラクター「しっしー」の文具。俳句のビギナーなら1冊はほしい俳句手帳1冊330円、かわいいマスキングテープ1個440円

問合せ/◎松山市道後公園1-30 ☎089-931-5566 ◎9:00~17:00(5月~10月は18:00まで)/火曜定休 購入は同館で

### D 季節限定の味もいろいろ

ひと切れ一六タルト [一六本舗]

一六タルトといえば柚子風味が有名だが、季節限定のタルトも続々誕生。冬は「あまおう苺」、「しよこら」とカラフルな一六タルトとの出会いが楽しみ。1個140円~

問合せ/◎松山市東方町甲1076-1  
☎0120-161647 購入は一六本舗道後  
本館前店ほか各店舗、松山空港などで

### C 元祖坊っちゃん団子はコレ

坊っちゃん団子 [つばや菓子舗]

創業明治16年のつばやは、夏目漱石の小説「坊っちゃん」に登場する団子屋のモデルとされる。1本ずつ手作り、上品な甘さのあんこ、口どけの良さが魅力。1箱5本入り600円

問合せ/◎松山市道後湯之町14-23  
☎089-921-2227 ◎9:30~18:00、  
20:00~21:00/火曜定休 購入は同店で

### B あんこ入りの醤油餅

あん餅 [白石本舗]

醤油餅はひな祭りを祝う松山の郷土菓子。明治16年創業の白石本舗は醤油餅専門店として愛されている。あん入り醤油餅は、あん醤油・あん抹茶・あん柚子の3種類。1個150円

問合せ/◎松山市本町4-1-6  
☎089-924-4507 ◎9:00~18:30/日曜  
定休 購入は同店、太陽市(おひさまいち)などで

### A バラの花がモチーフ

ラヴィ餡ローズ [薄墨羊羹]

5色のバラの花の中に、色とりどりのあんこ(粒あん、こしあん、いもあん、チョコあん、りんごあん)を詰めた最中で洋風な味わいが美味。いよてつ高島屋限定商品。5個入り1188円

問合せ/◎松山市井門町1331-1  
☎089-958-3355  
購入はいよてつ高島屋で



## オーナーがセレクト 本と本気の一期一会

### ゲストハウスじょじょに

人好き、本好き、旅好きのオーナーが2014年にオープンしたゲストハウス。セレクト書店ほどの充実感を覚える約1000冊の本がそろう。コロナ禍で新たに始めたサービスが、ゲストのための選書。「その人の背中をそっと押すような本を選べたらうれしい」

◎ 松山市道後喜多町5-47 (道後温泉本館から徒歩8分)  
☎ 080-3880-9411 ◎ IN 18:00 / OUT 10:00  
◎ 1泊1人2800円 ◎ なし



#### TOPICS

館内には、宿と交流のあるアーティストの作品が点在。写真は、松山名物「坊っちゃん列車」とシロクマを描いた作品。



1. 2段ベットの寝室  
2. 宿名の「じょじょに」の由来は、荒井良二作の絵本『ユウリとジヨニ』から



# 道後のお宿

spend your time reading at DOGO INN

おもてなしにあふれる道後には、本が充実したお宿がたくさん。本と出会うおすすめ、お宿。

## 北欧のアートや本に出会う 余白で美しい空間

### 茶玻璃 ちゃはる

長年、Marimekkoのデザイナーを務めた石本藤雄のファブリックや陶器を各フロアで採用。ロビーには、フィンランドの作家・トーベ・ヤンソン原作の『ムーミン』が並ぶ棚。“北欧”をコンセプトに、計算された“余白”が美しいハイセンスな宿。

◎ 松山市道後湯月町4-4 (道後温泉駅から徒歩5分) ☎ 089-945-1321 ◎ IN 15:00 / OUT 10:00 ◎ 1泊2日朝夕食付き1人2万4200円～(エグゼクティブスイート/ 食事はbuffet利用/2人1室の場合) ◎ あり



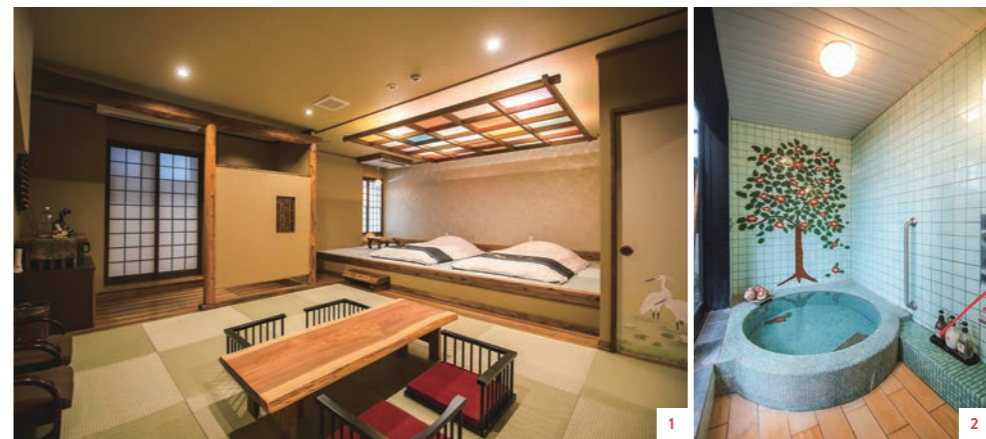
#### TOPICS



茶玻璃名物の一つが、道後で初めてできた「屋上露天風呂」。松山市街を一望しながら、道後の風情と湯に浸かろう。



1. エグゼクティブスイートの客室。洗練さとくつろぎを兼ね備えた空間 2. 夜のディナーの一つ「道後キユージーヌbuffet」。見た目にも舌にも発見をもたらすオリエイ 3. エントランスそばにある『ムーミン』の本棚



1. 客室の一つ「白鷺(しらさぎ)」。洗練された量の空間は20畳の広さ 2. 3つの貸し切り風呂は、道後温泉の引湯。写真は橋がかわいいタイル風呂「湯姫」。露天風呂付き 3. 石や木で造るしっとりしたアプローチで非日常へ

#### TOPICS



谷屋3代目が腕を振るう料理にも定評がある。夜は、新鮮な魚と野菜を使った和のコース。野菜たっぷりの朝食もうれしい。

## 本棚に込められた心 遊び心とおもてなしの心

### あたたかい宿 谷屋

一階奥にある囲炉裏の空間に、およそ1000冊が並ぶ本の壁。これらのほとんどは宿と交流の深い詩人・三代目魚武濱田成夫の寄贈本。ライブラリーをはじめ、客室や風呂の造りなど、宿主の「客を喜ばせたい」という遊び心があふれる、道後の名宿。

◎ 松山市道後湯之町2-4 (道後温泉駅から徒歩3分) ☎ 089-921-8595 ◎ IN 15:00 / OUT 11:00 ◎ 1泊2日朝夕食付き1人2万4900円～(2人1室の場合) ◎ あり

読んでくつろぐ

カフェタイム

# Cafe Time

オーナーの人柄や思いを映し出すカフェの本棚。

カフェの本を読むという、旅の思い出。



カフェメニュー  
上から十三饅頭(100円)、チーズケーキ(330円)、チョコレートケーキ(330円)

## SPOT 1

### カフェ・タニホポ

このまちにある、奇跡。空間に、才能に、しびれる。

中庭を囲む建築の最奥にあるカフェは、伊丹十三記念館の展示を見学した人だけが利用できる特別な空間。高校時代を松山市で過ごした伊丹十三の、マルチな才能に触れた後は、鑑賞の余韻に浸りながら、彼の著をめくる。そんな無二の時間を過ごすことができる。

◎松山市東石井1-6-10 伊丹十三記念館内 ☎089-969-1313  
◎開館時間 10:00~18:00(入館は17:30まで) / 火曜休館(火曜日が祝日の場合は翌日) ※カフェ利用には入館料(大人800円、高・大学生500円)が必要



中庭が見える開放的な雰囲気のカフェ



焼き杉の黒い外観が一際存在感を放つ。記念館の展示、オリジナルグッズのクオリティも高い

## BOOK



A『伊丹十三の本』「考える人」編集部編  
B『映画「お葬式」シナリオつき絵コンテノート』伊丹十三記念館※いずれも館内ショップで販売

## SPOT 3

### COFFEE and KITCHEN Annette (アネット)

アメリカな雰囲気に浸る、街中の、みんなの休息地。

奥まったソファ席、バーカウンター、窓際の席とそのときのシチュエーションに合った空間、料理をチョイスできる、市民に愛される街中のカフェ。60、70年代のアメリカをオマージュした内装や食器、本が店内を彩る。

◎松山市大手町2-7-16 ☎089-921-7787  
◎11:00~18:00(L.O.17:00) / 水曜定休

カフェメニュー  
雑穀を使ったパンケーキが主役の「アメリカン・ブレイクファスト」1100円



## BOOK

A『TIME Paul McCartney The legend rocks on』James Kaplan  
B『Fashionable Clothing from the Sears Catalogs: Early 1970s』Desire Smith



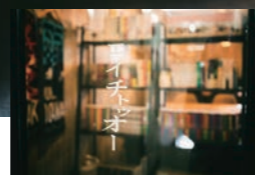
## SPOT 2

### HtoO -本と音楽、本とお食事-

自分の“好き”をあつめた場所、共感する人があつまる場所。

松山市駅から北に伸びる花園町通りに面したビルの2階。邦楽ロックとマンガと本など、店主おちともひこさんの好きなので世界観を作り上げるカフェHtoO(エイチトゥオー)。飲食店勤めの経験を生かした料理やバフェも定評がある。

◎松山市花園町5-3 松本ビル2F  
☎089-913-6687  
◎ランチ 11:30~15:00(L.O. 14:00)、  
ディナー 17:00~23:00(L.O. 22:00)、  
日曜のみ11:30~18:00 / 月曜定休



## BOOK

A『フライ、ダディ、フライ』金城一紀  
B『きみはポラリス』三浦しをん



カフェメニュー  
上)ガラスのイラストもキュートな「クリープソーダ」(450円)  
左)チーズとデミグラスソースをかけた「自家製ハンバーグ」(800円)

当時のカセットや音楽に関する本が置いてあるよ







大本さんは、東京出身の妻・瞳さんと2人で「コットンジョンコーヒー」を営む。2人は東京で出会い、結婚した。



店名は、実際に見た大本さんの夢から「拝借」。「夢の中の自分の店が、その名だったんです(笑)」

URNS  
Interview  
松山に  
移り住んで

# 14 VOL. 大本直樹さん(43歳)・コーヒー店経営 松山市⇩東京⇩松山市

” 互いを思いやる気持ちだけで生きられる。それが、気持ちいい ”

松山市・高浜港からフェリーに乗って10分ほどの場所にある「興居島」。東京からUターンし、コーヒー店をオープンした大本直樹さん。港の目の前にできた島唯一のコーヒー店には、島民と観光客が絶え間なく訪れる。

島には  
おもしろい人が  
たくさんいるよ



## PROFILE

1979年松山市生まれ。市内の美容専門学校を卒業後に上京し、バンド活動をしながら家電量販店、カフェバーカーで働く。2015年に「コットンジョンコーヒー」の屋号を持ち、時折、コーヒー店を開くように。2020年、興居島で開業した。  
<https://www.cottonjohncoffee.com>



島という立地から、焙煎豆のオンライン販売が売り上げの主軸になると見込んでいたものの、やり始めた店舗販売がメインに

**自分がめざす生き方を自然体でできる場所**  
松山市生まれの大本直樹さんは市内の美容専門学校を卒業後、バンド活動を続けるために一人、上京した。新たに出会ったバンド仲間と音楽活動をしながら、家電量販店で5年働き、その後、興味があったパンを学ぶため、カフェバーカーで働き始めた。音楽と両立しながら10年、バンドが解散を迎える一方で、ペーカリーカフェでは持ち前の責任感と能

力が認められ、マネージャーに昇格。製造だけではなく、人やお金の管理を任されるようになった。だが、大本さんは糖尿病を患っていた。インスリン投与なしでは飲食ができない体に、パンの道は険しい。そんな時、ペーカリーの近所にある純喫茶店を手伝い、「きちんと淹れる」コーヒーに出会う。「コーヒーは無糖だから、インスリンなしでも飲める。淹れ方、豆の種類でいろいろな味わいを楽しめる、コーヒーの魅力にハマりましたね」

生来、「ハマったら極める」職人気質の大本さん。自分で淹れたコーヒーを1日10杯以上も飲むようにになり、生豆を購入し焙煎を始めた。趣味のコーヒー店めぐりで出会った焙煎の「師匠」から知識と技を覚え、間借りして時々、店を開くようになる。36歳、「培った経験を生かしたい」と、コーヒーをなりたいに生きていくことを決めた。思い描いた場所は、かつてよく遊びに行っていた、お気に入りの興居島だった。「35歳のとき、久しぶりに島へ行っ



あまくて  
かわいい  
和  
japanese  
kawaii  
sweets

おはぎに団子、和の食材を  
あしらったパフェ。  
かわいずくめの  
和スイーツたち。

- 2 わっぱおはぎ 1600円  
曲げわっぱの中に6種類の創作おはぎが並ぶ。餅米を変えたり、旬の食材を使ったりと、全部食べても飽きない心くばりも詰める
- 3 彩りゆけむり団子 400円(2本)  
焼きたてのもちもちの白玉団子に、抹茶、イチゴ、紫芋などのカラフルなあんがお花のように添えられている

- 1 茶楽パフェ 1155円(お茶セット)  
山田屋まんじゅう自慢のあんを型押しした「花」がキュート。寒天、白玉団子、まんじゅう、抹茶と和の素材をたっぷり重ねたパフェ



「焼きたての団子を食べてほしい」と、2021年、道後エリアに団子専門店がオープン。古民家の佇まいや、風車を並べた壁、キュートな団子などで若い女性を中心に支持される。

どうごゆけむりカフェ  
◎松山市道後湯之町3-16 ◎10:00~20:00/無休 <https://www.instagram.com/yukemuricafe/>



食への意識が高まった40代の頃、作り手の「罪悪感なく食べたい」という望みから生まれた。店舗は持たず、イベントなどに出店。美しさとおいしさで、予約がすぐ埋まるほどの人気に。

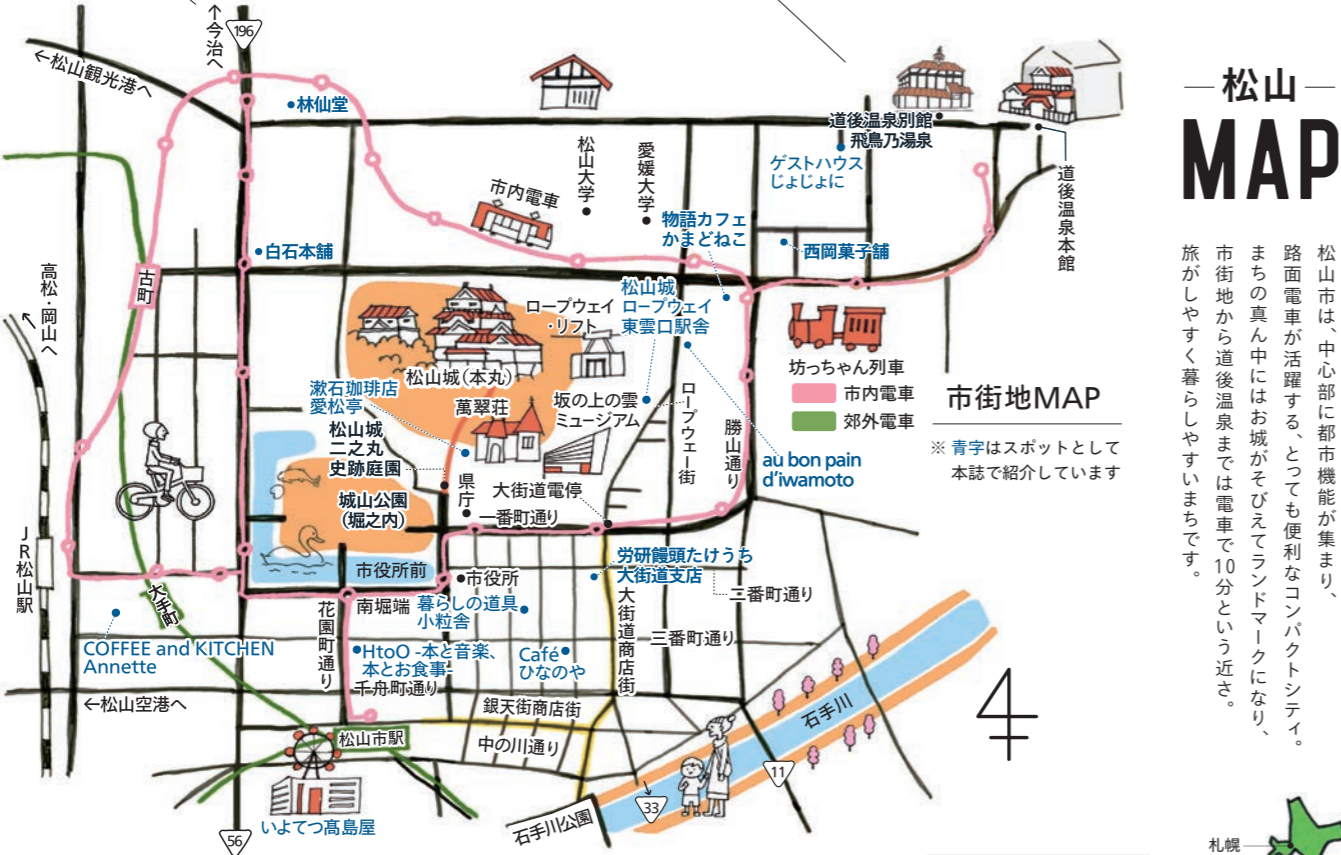
おはぎの里  
月数回販売。花園町通りの「お城下マルシェ」にも出店 [https://www.instagram.com/ohagi\\_310/](https://www.instagram.com/ohagi_310/)



一口まんじゅうで全国的に知られる愛媛の銘菓「山田屋まんじゅう」。その作り手が、道後温泉本館近くで営む日本茶専門カフェ「茶楽」では、こだわりのお茶と甘味を提供。

茶楽(山田屋まんじゅう 道後温泉店)  
◎松山市道後鷺谷町5-13 ☎089-921-5388 ◎10:00~18:00/無休

老舗の、思いと技



**ACCESS**

東京から90分でひとつ飛び!

飛行機	羽田空港～松山空港	約1時間30分 (JAL, ANA)
	成田空港～松山空港	約1時間40分 (ジェットスター<LCC>)
	伊丹空港～松山空港	約50分 (JAL, ANA)
	(松山空港から市内中心部までリムジンバスでたった20分)	
JR	東京駅～(新幹線 約3時間30分)～岡山駅～(予讃線 約3時間)～松山駅	
JR+船	東京駅～(新幹線 約4時間)～広島駅～(高速船 約70分)～松山観光港	
長距離バス	東京駅～松山駅	約12時間20分



# INFORMATION

・松山市からのお知らせ・

## イルミネーション作品「ひかりの実」

松山・道後の冬の風物詩として親しまれている高橋匡太さんのイルミネーション作品「ひかりの実」。観光客や子どもたちが大切な人の笑顔を描いた“ひかりの実”を公園内の木につらし、個性豊かな色とりどりの光で一带を包み込む幻想的なアート作品です。



- 期間:2022.12.16(金)～2023.1.15(日)
- 点灯時間:常時点灯
- 場所:道後公園北側入り口(松山市道後公園)



道後オンセナート2022公式サイト→

## 友近さんが歌う♪『道後のワルツ』公開中



道後温泉には「本館」はもちろん、新たな温泉文化を発信する拠点「別館 飛鳥乃湯泉」、地元で愛され続ける「椿の湯」の3つのお湯があります。そんな表情の異なる3つのお湯の魅力を紹介する『道後のワルツ』を制作。“3拍子”のワルツのリズムにのせて、松山市出身の芸人・友近さんが歌います。ぜひ、ご視聴ください♪



## 松山市LINE公式アカウント



観光やイベント情報など、欲しい情報を選んで受け取れます。時期によっては松山産品が当たるプレゼント企画も!



※プレゼントの日程・内容はLINE内で随時お知らせします

## 松山市ふるさと納税への寄附を募集しています

毎年多くの皆さんに、たくさんの寄附を頂いている松山市ふるさと納税。返礼品として「紅まどんな」、「甘平(かんべい)」、「せとか」などのブランド柑橘(かんきつ)や、しらすなどの小魚をはじめとする海産物、道後の温泉旅館の宿泊券や旅行クーポンなど、魅力的な返礼品を数多くご用意しています。ぜひ今年のふるさと納税は松山市への寄附をご検討ください!



多種多様な柑橘を取り扱っています(写真:せとか)

松山市へのふるさと納税ができるサイトです  
二次元バーコードを読み込んでください!



楽天ふるさと納税



ふるさとチョイス



宿泊券・旅行クーポンもぜひふるさと納税で!

3  
名様



1 茶瑠璃から  
「FUJIWO ISHIMOTO  
×CHAHARUマグカップ」

1階CHAHARUセレクトには、もてなしのプロがセレクトした逸品が勢ぞろい。元Marimekkoデザイナーとして知られる石本藤雄さんは愛媛県砥部町出身で、現在は松山を拠点に制作活動をしている。そんな石本さんと茶瑠璃のコラボで生まれたオリジナル食器の中から、砥部焼のマグカップを。※色は選べません。  
茶瑠璃 <https://www.chaharu.com>



# PRESENT

## 素敵な松山の特産品を プレゼント

『暖暖松山』23号はいかがでしたか。  
お読みいただいた方の中から、  
抽選で松山の素敵なプレゼントが当たります。  
パソコンやスマートフォン、ハガキで、  
アンケートに答えてご応募ください。

当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。  
応募締切/2023年2月28日(火)。ハガキの場合は、当日消印有効  
※発送時期によりプレゼント内容を変更する場合があります

3  
名様



2 伊織から  
「seto(セト)ハンカチタオル  
「tsubaki(椿)」  
ハンドタオルのセット

品質の良さと人気の今治タオルを取り扱う「伊織」は、多彩なデザインと商品群が自慢のショップ。瀬戸内の美しい風景がモチーフの「seto」と、松山の市花「椿」がモチーフの「tsubaki」をセットで。※色は選べません。

伊織  
<https://www.i-ori.jp>

5  
名様



3 一六本舗から  
「ひと切れ一六タルト」  
10個入

一六本舗では、柚子の香り豊かなこしあんをスポンジで巻いた定番の一六タルトが人気。さらに季節の味わいが楽しめる季節限定の一六タルトも展開中。柚子・宇治抹茶に、春限定「桜」を加えた3種類をセットで。

一六本舗  
<https://www.itm-gr.co.jp/ichiroku/>

2  
名様



4 木生活から  
「森のブックカバー」  
しおり付き

三津浜商店街にある木の香りに包まれた木製雑貨ショップ。愛媛県産のブランド材「暖ひのき」「暖すぎ」使用の驚きの手作り商品がいっぱい。ブックカバーは鳥や木のファンポイントも魅力。※柄は選べません。

木生活  
<https://mokuseikatu.theshop.jp>

3  
名様



5 まつやま農林水産物ブランド認定  
「せとか」  
3kg程度

清見のジューシーさ、アンコールの甘さ、マロコットのkokoroと香り。人気柑橘のいいとこ取りで生まれた「せとか」は、酸味と甘みのバランスがよいのが特長。むきやすく、種がほとんどないので、内袋ごと食べられます。

まつやま農林水産物ブランド化推進協議会  
<https://m-chisanchisho.com>

### ハガキでご応募

ハガキに次の①～⑧を明記して、下記までお送りください。

①ご希望のプレゼント番号(ひとつ) ②本誌を読んだ感想③本誌を読み続けたいか④〒住所⑤お名前⑥年齢⑦性別⑧電話番号

〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1新宿フロントタワー31階  
サンケイリビング新聞社 首都圏事業部「暖暖松山」プレゼント事務局

- ◎受付業務は、サンケイリビング新聞社が代行します。個人情報申込者の許諾なく第三者に提供することはありません(法令等により開示を求められた場合を除く)。
- ◎個人情報は、プレゼント賞品の発送、及びアンケート集計のみに利用し、厳重に管理します。
- ◎プレゼント賞品に関するお問い合わせは、えひめリビング新聞社までご連絡ください(TEL089-931-7001)。
- ◎松山市の個人情報保護制度については、松山市のホームページをご覧ください。<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/johokokai/kojinjouhouhogoseido.html>
- ◎当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。応募締切/2023年2月28日(火)。ハガキの場合は、当日消印有効

2022年12月発行/企画・発行:松山市 秘書広報部 シティプロモーション推進課 TEL089-948-6705

〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7番地2 松山市ホームページ <https://www.city.matsuyama.ehime.jp/>

暖暖松山編集部:サンケイリビング新聞社・えひめリビング新聞社内 撮影:徳丸哲也・丹生谷千聡・和田浩志 テキスト:ハタノエリ・山口正子

アートディレクション:松下亮介・土居麻巴香(以上エス・ピー・シー) デザイン:林真央・藤野貴大・田中優衣(以上エス・ピー・シー) タイトルデザイン:漆原悠一(tento)

印刷:製本:タイハイ 配布:サンケイリビング新聞社 この冊子は、環境対応紙とベジタブルインキを使用しています。

※掲載データにつきましては、2022年10月現在のものです。新型コロナウイルスなどの影響により情報の内容は変更される場合があります。

本誌記事、写真等の無断複写、及び転載を禁じます

### パソコン・スマホでご応募

バックナンバーもこちらから

<https://www.dandanmatsuyama.com/dandan/>



暖暖松山プレゼント

パソコン・スマートフォンでご覧になれます

